



紙面
●電話
03-6
(土日
9:3
●FAX
03-3
購読
0120
1ヵ月
(朝・夕
配達
03-6
TOK
www.t

大震災
死
1
行方不
1
避
12

女性目線で復興に活力

3・11から

家になるには、欧米の貴婦人たちが対峙できる日本人の育成が必要だと認識して「女性の社会参加と国際化」の教育を始めました。ところがその後、軍国主義が広がり「良妻賢母」の教育にシフトしていったため、会は機能停止してしまいました。二〇〇一年、渋

沢のひ孫にあたる方と「停滞した日本には女性の活力が必要ではないか」と話し合い、二十一世紀版の奨励会としてJKSKが発足しました。復興は、日本中の能力を集結すべき大事業です。そのためには人口の半分を占める女性という資源を活用しなければなりません。

「できないこと」を一つで国とつながりながら電線が汚く張り巡らされている街並みのような「おかしなこと」がない社会が復興後のイメージです。東北は、経済とか開発と

「今、わたしにできること」と思っています。女性目線の方が「何か変だぞ」は見つけやすいのではないのでしょうか。例えば、先進国とつながりながら電線が汚く張り巡らされている街並みのような「おかしなこと」がない社会が復興後のイメージです。東北は、経済とか開発と



きまた・みつ 1936年、福岡県生まれ。大医学部卒業。能力開発局海外局長、国連公使、大臣官房審議官など大歴任。その後「ザ・ショップ」の創業社長。認定NPO法人「女子教育奨励会(JKSK)」理事長。

多様な発想、価値観を

万円で出してもらえ。でも、一度出すとそれきりになりがちです。継続的支援を可能にするために「五年間、一年に一回ずつ募金を」と呼び掛けるつもりです。漠然と寄付するのではなく、取り組みの内容をよく理解して、ごの誰を支援するのかを明確にし、自分もその復興活動の一員であることを実感できるように活動を展開できたいですね。

私の行動の支えになっているのは「人のお世話をするように」という父の言葉です。まず、自分で生きる力を持つ。その上で、人のために役立つ生き方をせよ。人間の幸せのあり方を教えることも実行しています。幸い健康で、自分ができる範囲で、いろいろなことを実行しています。

（聞き手・中沢佳子、写真・河口貞史）

内閣官
古敏荘東

路
「...」
しかし、今年六月末にも見込まれる日米首脳会談に向けて、政府

天気	きょう	あす	9	12	15	18	21	24	時	降水確率	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)
東京	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	22	11	20	25	22	22	18	20
大阪	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	22	11	20	25	22	22	18	20
名古屋	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	22	11	20	25	22	22	18	20